

無線レーザスキャナ

NL 2002 IW

補足取扱説明書

Ver. 1.2a



はじめに

このたびはレーザーキャナ NL2002IW をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本取扱説明書には、NL2002IW の外部機器との接続方法および内部パラメータの設定方法について記載してありますので、初めて NL2002IW を使用する前に必ずお読みください。

ご注意

- (1) 本書の内容の全部または一部を無断で複製することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
- (3) 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきのことがございましたら巻末の弊社担当窓口までご連絡くださるようお願い申し上げます。
- (4) 本書に基づいて NL2002IW を運用した結果の影響については、前項(3)にかかわらず弊社では責任を負いかねますのでご了承くださいようお願い申し上げます。

商標について

Microsoft[®] Windows[®]は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他の商標および登録商標は、所有各社に帰属します。

目次

はじめに	2
ご注意	2
商標について	2
LED 表示とブザー動作について	7
トラブルシューティング	8
設定手順	9
出荷時設定(初期設定)	10
読取りモードの設定	11
トリガモード	11
連続モード	11
キャラクタ間デレイ時間の設定	13
読取りブザー設定	14
読取り時ブザー音の ON/OFF 設定	14
読取り時ブザー音の音色設定	14
読取り時ブザー音長の設定	15
読取り時ブザー音量の設定	15
デコード多重チェック	16
反転バーコード	17
データフォーマットの設定	18
はじめに	18
プリフィックスの設定	19
コード別プリフィックス設定	20
サフィックスの設定	22
ターミネータの解除	22
ターミネータの設定	23
コード別サフィックス設定	24
読取りバーコードの設定	26
全コード種別読取許可(アドオン除く)	26
全コード種別読取禁止	26
コード 39 の設定	27
読取り許可	27
フル ASCII 変換	27

スタート/ストップキャラクタ転送	27
チェックキャラクタ検証と末尾文字の転送	28
読取り桁数範囲の指定	29
最小読取り桁数の指定	29
最大読取り桁数の指定	29
インタリーブド 2 オブ 5 の設定	30
読取り許可	30
チェックキャラクタ検証	30
読取り桁数範囲の指定	31
最小読取り桁数の指定	31
最大読取り桁数の指定	31
インダストリアル 2 オブ 5 の設定	32
読取り許可	32
チェックキャラクタ検証	32
読取り桁数範囲の指定	33
最小読取り桁数の指定	33
最大読取り桁数の指定	33
マトリックス 2 オブ 5 の設定	34
読取り許可	34
チェックキャラクタ検証	34
読取り桁数範囲の指定	35
最小読取り桁数の指定	35
最大読取り桁数の指定	35
UPC の設定	36
読取り許可	36
UPC-A 設定	37
先頭キャラクタとチェックキャラクタの転送	37
UPC-E 設定	38
先頭キャラクタとチェックキャラクタの転送	38
EAN/JAN の設定	39
読取り許可	39
定期刊行物コード(新雑誌コード)設定	39
チェックキャラクタの転送	40
ISBN 変換	41
コーダバー (CODABAR / NW-7) の設定	42
読取り許可	42
スタート/ストップキャラクタ転送	42

チェックキャラクタの検証と末文字の転送	43
読取り桁数範囲の指定	44
最小読取り桁数の指定	44
最大読取り桁数の指定	44
コード 128 の設定	45
読取り許可	45
GS1-128(UCC/EAN128)フォーマット設定	45
変換モード1	46
変換モード2	47
読取り桁数範囲の指定	48
最小読取り桁数の指定	48
最大読取り桁数の指定	48
コード 93 の設定	49
読取り許可	49
読取り桁数範囲の指定	49
最小読取り桁数の指定	49
最大読取り桁数の指定	49
MSI/PLESSEY の設定	50
読取り許可	50
読取り桁数範囲の指定	50
最小読取り桁数の指定	50
最大読取り桁数の指定	50
GS1 DATABAR(RSS)の設定	51
読取許可	51
Composite フラグの設定	51
読取り桁数範囲の指定	52
最小読取り桁数の指定	52
最大読取り桁数の指定	52
PDF417 の設定	53
読取許可	53
マイクロ PDF417 の設定	53
読取り許可	53
保守メニュー	54
ファームウェアのバージョン確認	54
附属書1. フル ASCII バーコード	55
附属書2. 特殊キー対応バーコード	66

サンプルバーコード..... 69

日栄インテック株式会社 70

LED 表示とブザー動作について

3本の青LED、緑LED、赤LEDでスキヤナの活動状態を表示します。

状態	色	表示	内容	ブザー
バーコード 読み取り	緑	点灯	バーコードの読み取り/送信が正常に行われたことを表します。	ピロ
	橙	点灯	未接続時にバーコードデータをメモリに蓄積していることを表します。	ピロロ
	赤	点灯	バーコードデータの送信が出来なかったことを表します。	ピッピッピッ
Bluetooth 接続	青	点滅	Bluetooth の接続処理中であることを表します。	—
	赤	点灯	Bluetooth の接続が失敗したことを表します。	ピッピッピッ
Bluetooth 切断	赤	点灯	Bluetooth を切断したことを表します。	ピッピッピッ
	赤	点灯	Bluetooth が圏外または接続相手機器から切断されたことを表します。	ピーローロー
USB ケーブル 接続時	赤	点灯	充電中であることを表します。	—
	緑	点灯	充電が完了したことを表します。	—
—	橙	点滅	電池容量が少ない事を警告します(※1)	—

※1:速やかに本製品を充電してください。

トラブルシューティング

現象	考えられる原因	解決方法
スキャナにまったく反応がない・LEDが点灯しない・ブザー音が鳴らない・レーザが出ない。	◆ 充電が切れています。	付属のUSBケーブルを接続し充電を行ってください。
	◆ トリガーキーが故障しています。	
	◆ スキャナが故障しています。	
スキャナは機能しているが、バーコードを読取らない。	◆ 読もうとしているバーコードの種類が読取禁止になっています。	バーコードの読取許可を行ってください。
	◆ 読もうとしているバーコードの桁数が設定の範囲外になっています。	バーコードの桁数を設定してください。
読取音はするがデータが表示されない。	◆ Bluetoothの接続が合っていません。	接続が正しく行われているかご確認ください。
バーコードが桁落ちする。	◆ ホスト機器のデータ受信が追いついていません。	「キャラクタ間ディレイ時間の設定」を行ってください。

上記をお試しいただいても症状の改善が見られない場合は、故障の可能性がありますので、修理依頼書をご記入の上、修理依頼品と同梱で下記住所へお送りください。

尚、修理ご依頼時の送料はお客様ご負担になりますので、ご了承くださいませようお願いします。

送り先住所:

〒110-0016

東京都台東区台東3-42-5 日栄インテック御徒町第1ビル 2F

日栄インテック株式会社 バーコードグループ サポート係 宛

電話 03-5816-7141

設定手順

- (1) 変更したいパラメータの記載されているページを開きます。
- (2) 『設定開始』バーコードを読取ります。ブザーが「ピロリッ」と1回鳴り、一定間隔で「ピッ、ピッ…」と鳴り続けます。
- (3) 変更したいパラメータの設定バーコードを読取ります。『設定開始』バーコードを読取ったときと同じブザー音で「ピロリッ」と1回鳴ります。
- (4) 『設定終了』バーコードを読取ります。『設定開始』バーコードと同じブザー音で「ピロリッ」と1回鳴ります。

複数のパラメータを変更する場合は、1～3を同様に繰り返します。

※設定内容がわからなくなってしまった場合は、一度『出荷時設定』に戻してから、必要に応じてパラメータを変更してください。

出荷時設定(初期設定)

NL2002IW を出荷時設定(設定項目名に下線が付いている設定)に戻すには、下記の設定バーコードを上から順に読取ります。



開 始

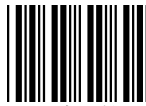


初期化



終 了

※パソコン、タブレット、スマートフォン等との接続については別冊の取扱説明書をご参照ください。



設定開始

読取りモードの設定

トリガモード



トリガモード

トリガモードでは、トリガボタンを押している間、レーザ発光し読取りを行いません。バーコードを読取るとレーザ消灯します。また、バーコードを読取る前にトリガボタンを放すとレーザ消灯します。

※レーザダイオード保護のため、トリガボタンを押し続けていても約 2 秒でレーザ消灯します。

連続モード



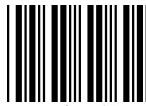
連続モード

連続モードでは、バーコードを読み取ったあと、12 ページの『読取り可能時間設定』で設定されている時間が経過するまでレーザを消灯しません。レーザ照射している間は続けて読取りを行えます。

※連続モードに設定した状態で、2つのバーコードにレーザをあてた場合、交互に連続してバーコードを読取る場合がありますので、設定時にはご注意ください。



設定終了



設定開始

読取り可能時間設定

指定した時間内にバーコードを読み取れない時に自動的に読取り動作を停止する機能です。レーザーモジュールの保護のため、初期設定では2秒に設定されています。



0 秒



1 秒



2 秒



4 秒



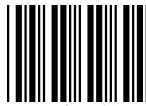
6 秒



読取り時間 10 倍



設定終了



設定開始

キャラクタ間ディレイ時間の設定

PC/ホスト機器の受信処理が遅い場合、1つ1つのキャラクタ送信間にディレイ(遅延)を発生させることで確実にデータを送信する機能です。



キャラクタ間ディレイなし



ディレイ 1 (10 ミリ秒)



ディレイ 2 (20 ミリ秒)



ディレイ 3 (30 ミリ秒)

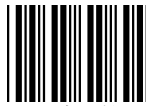


ディレイ 4 (40 ミリ秒)

※2015年製造(LW151*****)以前のはディレイ 4 が初期状態となっております。



設定終了



設定開始

読取りブザー設定

読取り時ブザー音の ON/OFF 設定



ON



OFF

読取り時ブザー音の音色設定



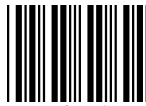
単音



複音



設定終了



設定開始

読取り時ブザー音長の設定

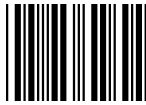


長 (100 ミリ秒)



中 (50 ミリ秒)

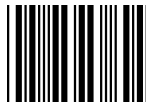
読取り時ブザー音量の設定



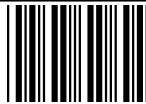
大



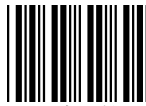
中



低



設定終了



設定開始

デコード多重チェック

1回の読取り動作で、自動的に2回以上連続して読取り、その結果を照合することにより、データの信頼性を高めます。照合結果が規定回数一致した段階で、ホストにデータを転送します。



照合回数 0 回



照合回数 1 回



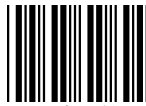
照合回数 2 回



照合回数 3 回



設定終了



設定開始

反転バーコード

通常、バーコードは白地に黒で印刷されますが、希に黒地に白で印刷されたものもあります。この黒地に白で印刷されたものを反転バーコードといい、読取りが難しいバーコードになります。

この設定は、反転バーコードに特化して、読取り易くする設定になります。ただし、『反転バーコード読取り』設定を施すと、通常のバーコードが読みづらくなります。



通常バーコード読取り



反転バーコード読取り



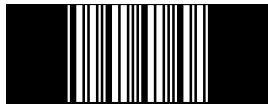
通常および反転バーコード読取り



通常バーコード読取り (反転読取り設定時用)



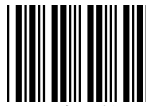
通常および反転バーコード読取り (反転読取り設定時用)



設定開始/設定終了 (反転読取り設定時用)



設定終了



設定開始

データフォーマットの設定

はじめに

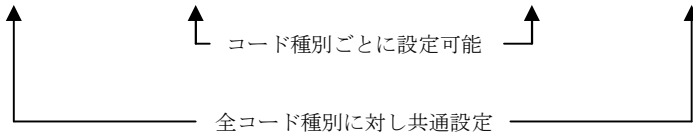
NL2001U は、各バーコード種別ごとに、任意のキャラクタをデータの前後に付加することができます。

プリフィックス(データ前に付加するキャラクタ)およびサフィックス(データ後に付加するキャラクタ)を、それぞれ最大 4 キャラクタずつ設定できます。

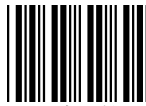
また、全コード種別に対して共通のコモンプリフィックスおよびコモンサフィックスを、それぞれ最大 8 キャラクタずつ設定できます。

データに対するコモンプリフィックス、コモンサフィックス、プリフィックス、サフィックスの付加位置は次の通りです

[コモンプリフィックス] [プリフィックス] [データ] [サフィックス] [コモンサフィックス]



設定終了



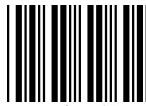
設定開始

プリフィックスの設定

『設定開始』のバーコードを読んだあと、20 ページからの『コード別プリフィックス設定』バーコードを読み取り、巻末 55 ページからの『附属書1. フル ASCII バーコード』および『附属書2. 特殊キー対応バーコード』にて、設定したいキャラクタのバーコードを読み取ります。プリフィックスには最大 4 キャラクタまで設定できます。また、コモンプリフィックスには最大 8 キャラクタまで設定できます。



設定終了



設定開始

(前ページから)

コード別プリフィックス設定



UPC-A



UPC-E



EAN13/JAN13



EAN8/JAN8



コード 39



全コード



UPC-A アドオン



UPC-E アドオン



EAN13/JAN13 アドオン



EAN8/JAN8 アドオン

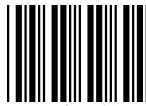


マトリックス 2 オブ 5

(次ページへ続く)



設定終了



設定開始

(前ページから)



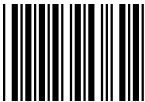
インターリーブド2 オブ 5



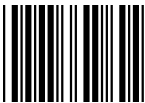
コード 93



MSI/Plessey



GS1 Databar



コモンプリフィックス



Codabar (NW7)



インダストリアル2 オブ 5



コード 128



IATA



PDF417



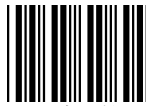
全プリフィックスのクリア

※コモンプリフィックスを設定後、何も付加しない設定に戻すには、『設定開始』、『コモンプリフィックス』、『設定終了』の順に読取ります。

プリフィックスを設定後、何も付加しない設定に戻すには、『設定開始』、『全プリフィックスのクリア』、『設定終了』の順に読取ります。



設定終了



設定開始

サフィックスの設定

『設定開始』のバーコードを読んだあと、24 ページからの『コード別サフィックス設定』を読み取り、巻末 55 ページからの『附属書1. フル ASCII バーコード』および『附属書2. 特殊キー対応バーコード』にて、設定したいキャラクタのバーコードを読み取ります。サフィックスには最大 4 キャラクタまで設定できます。また、COMMON サフィックスには最大 8 キャラクタまで設定できます。

NL2002IW では、初期設定を行った際にCOMMON サフィックスに「Enter」が設定されています。

したがって、新たにサフィックスの設定を行う場合は、最後に「Enter」を付加しないと、設定を行ったバーコード種別に対して「ターミネータなし」の状態になります。

※サフィックスに設定できるのは、ターミネータを含め 4 キャラクタ分ですので、キャラクタ数が不足する場合は、ターミネータをCOMMON サフィックスへ設定することをお勧めします。

設定例:コード 39 のサフィックスに「1234」を付加し、ターミネータに「Enter」を設定する。

『設定開始』→『全コード種別のターミネータ解除』→コード別サフィックス設定『コード 39』

→フル ASCII バーコード『1』、『2』、『3』、『4』→コード別サフィックス設定『COMMON サフィックス』

→ターミネータ設定『Enter』→『設定終了』

ターミネータの解除

『設定開始』バーコードを読んだあと、『全コード種別のターミネータ解除』を読み取り、『設定終了』を読み取ります。

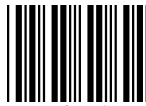


全コード種別のターミネータ解除 (全サフィックスクリア)

(次ページへ続く)



設定終了



設定開始

サフィックスの設定(続き)

(前のページより)

ターミネータの設定

『設定開始』のバーコードを読んだあと、24 ページからの『コード別サフィックス設定』を読み取り、続いて下記のターミネータ設定バーコードを読み取り、最後に『設定終了』を読み取ります。



Enter



Tab

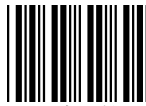


実行 (右 Ctrl)

(上の2つのバーコードを読み取ってください)



設定終了



設定開始

コード別サフィックス設定



UPC-A



UPC-E



EAN13/JAN13



EAN8/JAN8



コード 39



全コード



UPC-A アドオン



UPC-E アドオン



EAN13/JAN13 アドオン



EAN8/JAN8 アドオン

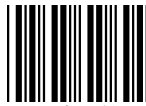


マトリックス 2 オブ 5

(次のページへ)



設定終了



設定開始

サフィックスの設定(続き)

(前のページより)



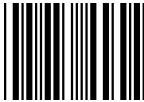
インターリーブド2 オブ 5



コード 93



MSI/Plessey



GS1 Databar



コモンサフィックス



Codabar (NW7)



インダストリアル2 オブ 5



コード 128



IATA



PDF417



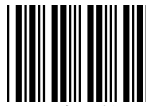
全サフィックスのクリア

※サフィックスを設定後、何も付加しない設定に戻すには、『設定開始』、『コモンプリフィックス』、『設定終了』の順に読取ります。

プリフィックスを設定後、何も付加しない設定に戻すには、『設定開始』、『全プリフィックスのクリア』、『設定終了』の順に読取ります。



設定終了



設定開始

読取りバーコードの設定

全コード種別読取許可(アドオン除く)

読み取るバーコード種別がわからないときに設定してください。ただし、この設定を施すと、予期せぬバーコードを読み取ったり、バーコードに近似した波形となるものをバーコードとして認識する場合がございます。

バーコードの種別がわかった時点で、読取るバーコード種別のみ読取許可の設定を施すことをお勧めします。



アドオンを除く全コード読取許可

全コード種別読取禁止

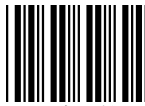
NL2002IW には、バーコード種別ごとに読取りを禁止する設定バーコードがございません。読取りを行うバーコード種別のみを許可する場合には、このバーコードを読み取ったあと、個別に読取許可を行ってください。



全コード読取禁止



設定終了



設定開始

コード 39 の設定

読取り許可



コード 39 の読取りを許可

フル ASCII 変換



変換する (コード 39 フル ASCII)



変換しない

スタート/ストップキャラクタ転送



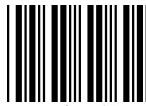
転送する



転送しない



設定終了



設定開始

コード 39 の設定 (続き)

チェックキャラクタ検証と末尾文字の転送



チェックキャラクタ検証する



チェックキャラクタ検証しない



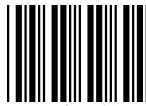
末尾文字を送信する



末尾文字を送信しない



設定終了



設定開始

コード 39 の設定 (続き)

読取り桁数範囲の指定

最小読取り桁数および最大読取り桁数を設定できます。

最小桁数と最大桁数を同一に設定すると、桁数固定になります。

桁数の設定には、設定したいバーコード種別で、設定する桁数のバーコードをご用意いただく必要があります。

最小読取り桁数の指定

『設定開始』、『最小読取り桁数の指定』バーコードに続いて、ご用意いただいた最小桁数に指定するコード 39 のバーコードを読取り、『設定終了』バーコードを読取ります。

※最小桁数は最大桁数以下になるように設定してください。

※コード 39 では、最小読取り桁数を『1 桁』に設定すると、非常に誤読が発生しやすくなります。読取るバーコードの桁数が決まっている場合は、誤読防止のため桁数を固定することをお薦めします。



最小読取り桁数の指定

最大読取り桁数の指定

『設定開始』、『最大読取り桁数の指定』バーコードに続いて、ご用意いただいた最大桁数に指定するコード 39 のバーコードを読取り、『設定終了』バーコードを読取ります。

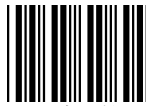
※最大桁数が最小桁数以上になるように設定してください。



最大読取り桁数の指定



設定終了



設定開始

インタリーブド 2 オブ 5 の設定

読取り許可



インタリーブド 2 オブ 5 の読取りを許可

チェックキャラクタ検証



チェックキャラクタ検証する



チェックキャラクタ検証しない



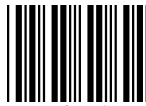
末尾文字を送信する



末尾文字を送信しない



設定終了



設定開始

インターリード2 オブ5 の設定 (続き)

読取り桁数範囲の指定

最小読取り桁数および最大読取り桁数を設定できます。

最小桁数と最大桁数を同一に設定すると、桁数固定になります。

桁数の設定には、設定したいバーコード種別で、設定する桁数のバーコードをご用意いただく必要があります。

最小読取り桁数の指定

『設定開始』、『最小読取り桁数の指定』バーコードに続いて、ご用意いただいた最小桁数に指定するインターリード2 オブ5 のバーコードを読み取り、『設定終了』バーコードを読み取ります。

※最小桁数は最大桁数以下になるように設定してください。

※インターリード2 オブ5 では、最小読取り桁数を『1 桁』に設定すると、非常に誤読が発生しやすくなります。読取るバーコードの桁数が決まっている場合は、誤読防止のため桁数を固定することをお勧めします。



最小読取り桁数の指定

最大読取り桁数の指定

『設定開始』、『最大読取り桁数の指定』バーコードに続いて、ご用意いただいた最大桁数に指定するインターリード2 オブ5 のバーコードを読み取り、『設定終了』バーコードを読み取ります。

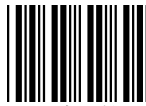
※最大桁数が最小桁数以上になるように設定してください。



最大読取り桁数の指定



設定終了



設定開始

インダストリアル 2 オブ 5 の設定

読取り許可



インダストリアル 2 オブ 5 の読取りを許可

チェックキャラクタ検証



チェックキャラクタ検証する



チェックキャラクタ検証しない



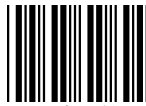
末尾文字を送信する



末尾文字を送信しない



設定終了



設定開始

インダストリアル 2 オブ 5 の設定 (続き)

読取り桁数範囲の指定

最小読取り桁数および最大読取り桁数を設定できます。

最小桁数と最大桁数を同一に設定すると、桁数固定になります。

桁数の設定には、設定したいバーコード種別で、設定する桁数のバーコードをご用意いただく必要があります。

最小読取り桁数の指定

『設定開始』、『最小読取り桁数の指定』バーコードに続いて、ご用意いただいた最小桁数に指定するインダストリアル 2 オブ 5 のバーコードを読取り、『設定終了』バーコードを読取ります。

※最小桁数は最大桁数以下になるように設定してください。

※インダストリアル 2 オブ 5 では、最小読取り桁数を『1 桁』に設定すると、非常に誤読が発生しやすくなります。読取るバーコードの桁数が決まっている場合は、誤読防止のため桁数を固定することをお薦めします。



最小読取り桁数の指定

最大読取り桁数の指定

『設定開始』、『最大読取り桁数の指定』バーコードに続いて、ご用意いただいた最大桁数に指定するインダストリアル 2 オブ 5 のバーコードを読取り、『設定終了』バーコードを読取ります。

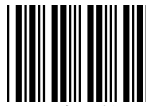
※最大桁数が最小桁数以上になるように設定してください。



最大読取り桁数の指定



設定終了



設定開始

マトリックス 2 オブ 5 の設定

読取り許可



マトリックス 2 オブ 5 の読取りを許可

チェックキャラクタ検証



チェックキャラクタ検証する



チェックキャラクタ検証しない



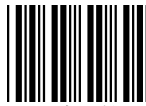
末尾文字を送信する



末尾文字を送信しない



設定終了



設定開始

マトリックス 2 オブ 5 の設定 (続き)

読取り桁数範囲の指定

最小読取り桁数および最大読取り桁数を設定できます。

最小桁数と最大桁数を同一に設定すると、桁数固定になります。

桁数の設定には、設定したいバーコード種別で、設定する桁数のバーコードをご用意いただく必要があります。

最小読取り桁数の指定

『設定開始』、『最小読取り桁数の指定』バーコードに続いて、ご用意いただいた最小桁数に指定するマトリックス 2 オブ 5 のバーコードを読み取り、『設定終了』バーコードを読み取ります。

※最小桁数は最大桁数以下になるように設定してください。

※マトリックス 2 オブ 5 では、最小読取り桁数を『1 桁』に設定すると、非常に誤読が発生しやすくなります。

読取るバーコードの桁数が決まっている場合は、誤読防止のため桁数を固定することをお薦めします。



最小読取り桁数の指定

最大読取り桁数の指定

『設定開始』、『最大読取り桁数の指定』バーコードに続いて、ご用意いただいた最大桁数に指定するマトリックス 2 オブ 5 のバーコードを読み取り、『設定終了』バーコードを読み取ります。

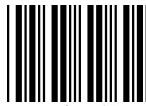
※最大桁数が最小桁数以上になるように設定してください。



最大読取り桁数の指定



設定終了



設定開始

UPC の設定

読取り許可



UPC の読取りを許可



UPC アドオン 2 桁 の読取りを許可

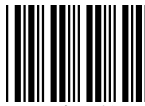


UPC アドオン 5 桁 の読取りを許可

(次ページへ続く)



設定終了



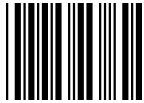
設定開始

UPC の設定 (続き)

(前ページより)

UPC-A 設定

先頭キャラクタとチェックキャラクタの転送



UPC-A の先頭 0 なし チェックキャラクタ 転送



UPC-A の先頭 0 なし チェックキャラクタ 転送なし



UPC-A の先頭 0 あり チェックキャラクタ 転送

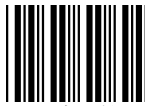


UPC-A の先頭 0 あり チェックキャラクタ 転送なし

(次ページへ続く)



設定終了



設定開始

UPC の設定 (続き)

(前ページより)

UPC-E 設定

先頭キャラクタとチェックキャラクタの転送



UPC-E の先頭 0 なし チェックキャラクタ 転送



UPC-E の先頭 0 なし チェックキャラクタ 転送なし



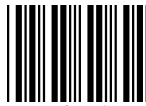
UPC-E の先頭 0 あり チェックキャラクタ 転送



UPC-E の先頭 0 あり チェックキャラクタ 転送なし



設定終了



設定開始

EAN/JAN の設定

読取り許可



EAN/JAN の読取りを許可



EAN/JAN アドオン 2 桁 の読取りを許可



EAN/JAN アドオン 5 桁 の読取りを許可

定期刊行物コード(新雑誌コード)設定

この設定は、「491～」で始まる JAN コードを必ずアドオンつきで送信するための設定です。この設定を施すことにより、「491～」で始まる JANコードのアドオン 5 桁を読み落とすことがなくなります

※この設定を行うときは、上記の『EAN/JAN アドオン 5 桁の読取りを許可』を設定してください。

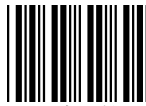
『EAN/JAN アドオン 5 桁の読取り許可』を設定しないと「491～」で始まる JAN コードを読み取らなくなります。



「491～」で始まる JAN コードのアドオンを必須



設定終了



設定開始

JAN/EAN の設定 (続き)

チェックキャラクタの転送



JAN/EAN 13桁のチェックキャラクタ 転送する



JAN/EAN 13桁のチェックキャラクタ 転送しない



JAN/EAN 8桁のチェックキャラクタ 転送する

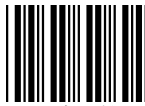


JAN/EAN 8桁のチェックキャラクタ 転送しない

(次ページへ続く)



設定終了



設定開始

JAN/EAN の設定 (続き)

(前ページから)

ISBN 変換

図書コードを読取ったときに、ISBN に変換して転送することができます。



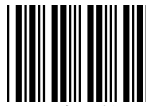
ISBN 変換する



ISBN 変換しない



設定終了



設定開始

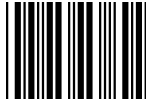
コーダバー(Codabar / NW-7)の設定

読取り許可



コーダバーの読取りを許可

スタート/ストップキャラクタ転送



A, B, C, D/A, B, C, D で転送する



a, b, c, d/a, b, c, d で転送する



a, b, c, d/t, n, *, e で転送する



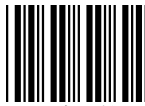
A, B, C, D/T, N, *, E で転送する



転送しない



設定終了



設定開始

コーダバー(Codabar / NW-7)の設定(続き)

チェックキャラクタの検証と末文字の転送



チェックキャラクタを検証しない



チェックキャラクタを検証する(モジュラス 10 ウェイト 1/ウエイト 2)



チェックキャラクタを検証する(モジュラス 11)



チェックキャラクタを検証する(モジュラス 16)



チェックキャラクタを検証する(7 チェック)



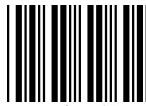
末文字を転送する



末文字を転送しない



設定終了



設定開始

コードバー(Codabar/ NW-7)の設定(続き)

読取り桁数範囲の指定

最小読取り桁数および最大読取り桁数を設定できます。

最小桁数と最大桁数を同一に設定すると、桁数固定になります。

桁数の設定には、設定したいバーコード種別で、設定する桁数のバーコードをご用意いただく必要があります。

最小読取り桁数の指定

『設定開始』、『最小読取り桁数の指定』バーコードに続いて、ご用意いただいた最小桁数に指定するコードバー(Codabar/NW7)のバーコードを読み取り、『設定終了』バーコードを読み取ります。

※最小桁数は最大桁数以下になるように設定してください。

※コードバー(Codabar/NW7)では、最小読取り桁数を『1桁』に設定すると、非常に誤読が発生しやすくなります。読取るバーコードの桁数が決まっている場合は、誤読防止のため桁数を固定することをお勧めします。



最小読取り桁数の指定

最大読取り桁数の指定

『設定開始』、『最大読取り桁数の指定』バーコードに続いて、ご用意いただいた最大桁数に指定するコードバー(Codabar/NW7)バーコードを読み取り、『設定終了』バーコードを読み取ります。

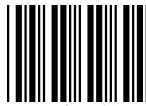
※最大桁数が最小桁数以上になるように設定してください。



最大読取り桁数の指定



設定終了



設定開始

コード 128 の設定

読取り許可



コード 128 の読取りを許可

GS1-128(UCC/EAN128)フォーマット設定

コード 128 のバーコードで、スタートキャラクタに続く第一シンボルキャラクタが〈FNC1〉のとき、GS1-128(UCC/EAN128)のバーコードとみなしてデータを転送するか、単なるコード 128 のバーコードとしてデータを転送するかを設定できます。

GS1-128(UCC/EAN128)として転送する場合、2 種類の変換モードを選択できます(次頁以降)。ただし、GS1-128 変換モードを有効にすると、GS1-128 フォーマット以外のコード 128 は読取無効になります。

GS1-128 変換モードを有効にした際に、通常のコード 128 も読み取りたい場合は、下記バーコードにて「GS1-128 フォーマット以外のコード 128 有効」に設定します。



GS1-128 有効時、GS1-128 フォーマット以外のコード 128 有効

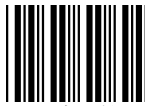
設定変更後、再び出荷時設定に戻すには、下記バーコードにて「GS1-128 フォーマット以外のコード 128 無効」に設定します。



GS1-128 有効時、GS1-128 フォーマット以外のコード 128 無効



設定終了



設定開始

GS1-128 変換モード 1～4 のいずれかを有効にした後で、変換モードを無効にしたい場合は、下記バーコードにて「GS1-128(UCC/EAN128)無効」に設定します。



GS1-128 (UCC/EAN128) 無効

変換モード1

GS1-128 の AI を () で括弧で出力するモードです。

出力例

ヒューマンリーダブル

(01) 14912345678904 (17) 990101 (30) 1000 (10) 1234567890123456

↓

出力データ

(01) 14912345678904 (17) 990101 (30) 1000 (10) 1234567890123456 “ENT”

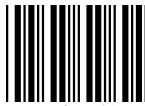
『設定開始』のあと、『GS1-128 変換モード 1』を読み取り、『設定終了』を読み取ります。



GS1-128 変換モード 1



設定終了



設定開始

変換モード2

先頭の FNC1 を”]C1”に変換、2 つ目以降の FNC1(可変長データの終端)を”Ctrl+”に変換します。
出力データに AI は含まれます。

出力例

ヒューマンリーダブル

(01) 14912345678904 (17) 990101 (30) 1000 (10) 1234567890123456

↓

出力データ

”]C1” 011491234567890417990101301000 ”Ctrl+” 101234567890123456

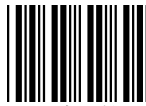
『設定開始』のあと、『GS1-128 変換モード 3』を読み取り、『設定終了』を読み取ります。



GS1-128 変換モード 3



設定終了



設定開始

読取り桁数範囲の指定

最小読取り桁数および最大読取り桁数を設定できます。

最小桁数と最大桁数を同一に設定すると、桁数固定になります。

桁数の設定には、設定したいバーコード種別で、設定する桁数のバーコードをご用意いただく必要があります。

最小読取り桁数の指定

『設定開始』、『最小読取り桁数の指定』バーコードに続いて、ご用意いただいた最小桁数に指定するコード 128 のバーコードを読み取り、『設定終了』バーコードを読み取ります。

※最小桁数は最大桁数以下になるように設定してください。

※コード 128 では、最小読取り桁数を『1 桁』に設定すると、誤読が発生する恐れがあります。読取るバーコードの桁数が決まっている場合は、誤読防止のため桁数を固定することをお薦めします。



最小読取り桁数の指定

最大読取り桁数の指定

『設定開始』、『最大読取り桁数の指定』バーコードに続いて、ご用意いただいた最大桁数に指定するコード 128 バーコードを読み取り、『設定終了』バーコードを読み取ります。

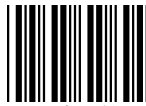
※最大桁数が最小桁数以上になるように設定してください。



最大読取り桁数の指定



設定終了



設定開始

コード 93 の設定

読取り許可



コード 93 の読取りを許可

読取り桁数範囲の指定

最小読取り桁数および最大読取り桁数を設定できます。

最小桁数と最大桁数を同一に設定すると、桁数固定になります。

桁数の設定には、設定したいバーコード種別で、設定する桁数のバーコードをご用意いただく必要がございます。

最小読取り桁数の指定

『設定開始』、『最小読取り桁数の指定』バーコードに続いて、ご用意いただいた最小桁数に指定するコード 93 のバーコードを読取り、『設定終了』バーコードを読取ります。

※最小桁数は最大桁数以下になるように設定してください。

※コード 93 では、最小読取り桁数を『1 桁』に設定すると、誤読が発生する恐れがあります。読取るバーコードの桁数が決まっている場合は、誤読防止のため桁数を固定することをお薦めします。



最小読取り桁数の指定

最大読取り桁数の指定

『設定開始』、『最大読取り桁数の指定』バーコードに続いて、ご用意いただいた最大桁数に指定するコード 93 バーコードを読取り、『設定終了』バーコードを読取ります。

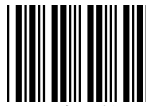
※最大桁数が最小桁数以上になるように設定してください。



最大読取り桁数の指定



設定終了



設定開始

MSI/Plessey の設定

読取り許可



MSI/Plessey の読取りを許可

読取り桁数範囲の指定

最小読取り桁数および最大読取り桁数を設定できます。

最小桁数と最大桁数を同一に設定すると、桁数固定になります。

桁数の設定には、設定したいバーコード種別で、設定する桁数のバーコードをご用意いただく必要があります。

最小読取り桁数の指定

『設定開始』、『最小読取り桁数の指定』バーコードに続いて、ご用意いただいた最小桁数に指定する MSI/Plessey のバーコードを読取り、『設定終了』バーコードを読取ります。

※最小桁数は最大桁数以下になるように設定してください。

※MSI/Plessey では、最小読取り桁数を『1 桁』に設定すると、誤読が発生する恐れがあります。読取るバーコードの桁数が決まっている場合は、誤読防止のため桁数を固定することをお薦めします。



最小読取り桁数の指定

最大読取り桁数の指定

『設定開始』、『最大読取り桁数の指定』バーコードに続いて、ご用意いただいた最大桁数に指定する MSI/Plessey バーコードを読取り、『設定終了』バーコードを読取ります。

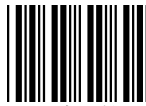
※最大桁数が最小桁数以上になるように設定してください。



最大読取り桁数の指定



設定終了



設定開始

GS1 Databar(RSS)の設定

読取許可



GS1 Databar Omnidirectional (RSS 14) の読取りを許可



GS1 Databar Limited (RSS Limited) の読取りを許可



GS1 Databar Expanded (RSS Expanded) の読取りを許可

Composite フラグの設定

EAN.UCC Composite (合成シンボル)にて、Composite フラグを無視して、DataBar(1次元シンボル部分)のみ読み取ることができます。



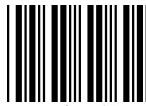
Composite フラグを無視する



Composite フラグを無視しない



設定終了



設定開始

GS1 Databar の設定(続き)

読取り桁数範囲の指定

最小読取り桁数および最大読取り桁数を設定できます。

最小桁数と最大桁数を同一に設定すると、桁数固定になります。

桁数の設定には、設定したいバーコード種別で、設定する桁数のバーコードをご用意いただく必要がございます。

最小読取り桁数の指定

『設定開始』、『最小読取り桁数の指定』バーコードに続いて、ご用意いただいた最小桁数に指定するGS1 Databar のバーコードを読取り、『設定終了』バーコードを読取ります。

※最小桁数は最大桁数以下になるように設定してください。



最小読取り桁数の指定

最大読取り桁数の指定

『設定開始』、『最大読取り桁数の指定』バーコードに続いて、ご用意いただいた最大桁数に指定するGS1 Databar バーコードを読取り、『設定終了』バーコードを読取ります。

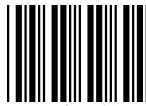
※最大桁数が最小桁数以上になるように設定してください。



最大読取り桁数の指定



設定終了



設定開始

PDF417 の設定

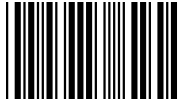
読取り許可



PDF417 の読取りを許可

マイクロ PDF417 の設定

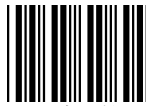
読取り許可



マイクロ PDF417 の読取りを許可



設定終了



設定開始

保守メニュー

ファームウェアのバージョン確認

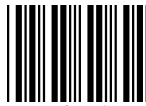


バージョン確認

『設定開始』バーコードに続いて『バージョン確認』バーコードを読取ると、ファームウェアのバージョンが、データとしてスキヤナから転送されます。『設定終了』バーコードを読取ってください。



設定終了



設定開始

附属書1. フル ASCII バーコード



Ctrl+@



Ctrl+A



Ctrl+B



Ctrl+C



Ctrl+D



Ctrl+E



Ctrl+F



Ctrl+G



Ctrl+H



Ctrl+I



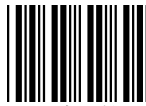
Ctrl+J



Ctrl+K



設定終了



設定開始

(続き)



Ctrl+L



Ctrl+M



Ctrl+N



Ctrl+O



Ctrl+P



Ctrl+Q



Ctrl+R



Ctrl+S



Ctrl+T



Ctrl+U



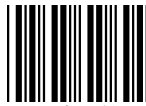
Ctrl+V



Ctrl+W



設定終了



設定開始

(続き)



Ctrl+X



Ctrl+Y



Ctrl+Z



Ctrl+[



Ctrl+\



Ctrl+]



Ctrl+^



Ctrl+_



スペース (空白)



!



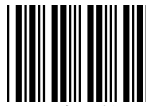
“



#



設定終了



設定開始

(続き)



\$



%



&



'(シングルクォート)



(



)



*



+



, (カンマ)



-(ハイフン)



.



/



設定終了



設定開始

(続き)



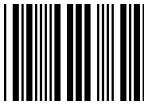
0



1



2



3



4



5



6



7



8



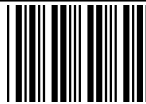
9



:



;



設定終了



設定開始

(続き)



<



=



>



?



@



A



B



C



D



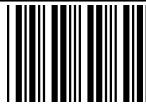
E



F



G



設定終了



設定開始

(続き)



H



I



J



K



L



M



N



O



P



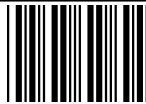
Q



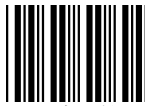
R



S



設定終了



設定開始

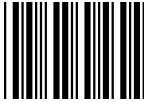
(続き)



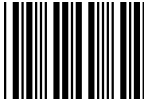
T



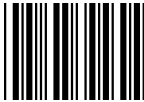
U



V



W



X



Y



Z



[



¥



]



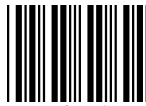
^



_(アンダーバー)



設定終了



設定開始

(続き)



` (バックオート)



a



b



c



d



e



f



g



h



i



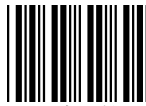
j



k



設定終了



設定開始

(続き)



l



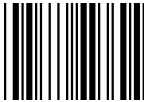
m



n



o



p



q



r



s



t



u



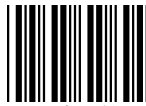
v



w



設定終了



設定開始

(続き)



x



y



z



{



|



}



~



Ctrl+BackSpace



設定終了

附属書2. 特殊キー対応バーコード



F1



F2



F3



F4



F5



F6



F7



F8



F9



F10



F11



F12



↑



↓

(続き)



←



→



Caps Lock



Tab



Return



テンキー Enter



Alt 開放



Alt 押下



Insert



Home



End



Delete

(続き)



Page Up



Page Down



Backspace



左 Ctrl 押下



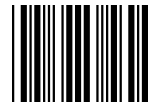
左 Ctrl 開放



右 Ctrl 押下



右 Ctrl 開放



Shift 開放



Shift 押下



Esc



コード識別子(AIM)



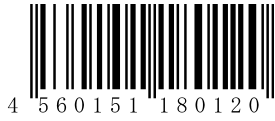
バーコード桁数(1D=2 桁、2D=6 桁)



バーコード桁数(1D,2D=6 桁)

サンプルバーコード

JAN / EAN-13



JAN / EAN-13 + アドオン 5 桁 (新雑誌コード)



JAN / EAN-8



UPC-A



UPC-E



コード 39 (チェックキャラクタなし)



コード 39 (チェックキャラクタ付)



コード 39 (フルアスキー)



コーダバー(チェックキャラクタなし)



a123456789a

コーダバー(チェックキャラクタ付)



a123451a

コード128



NICHIEI-INTEC

GS1-128(EAN/UCC-128)



(21) 060428 (11) 060525

インタリーブド2 オブ 5



0123456

ITF-14



14560151181353

GS1 Databar Omnidirectional



10 815684 00878

GS1 Databar Limited



(01) 0 0614141 00001 2

GS1 Databar Expanded Stacked



(01) 0 0614141 00001 2

PDF417



マイクロ PDF417



日栄インテック株式会社

開発事業部 バーコードグループ

〒110-0016 東京都台東区台東 3-42-5

日栄インテック御徒町第1ビル

TEL 03-5816-7141 FAX 03-5816-7140

E-Mail info@barcode.ne.jp